

### Q 齋宮跡について

A 保存活用計画を新たに策定していきたい



奥山幸洋 議員

**質 問** 「平成8年整備基本構想」の見直しで指定当時、地権者と約束されている方格地割区画の実物大復元整備を2025年節目の年に完成するよう文化庁・三重県・齋宮跡協議会ほか関係団体の協議で実現に向けた取り組みについて伺う。

**答 え** 史跡の整備はこれまで「史跡齋宮跡整備基本構想」に基づき、三重県により進められてきた。しかし、この基本構想は策定から26年が経過しており、町としては現状に即した整備構想への見直しが必要と考えている。今後の整備については、過去からの経緯も鑑み、優先すべき整備についてできる限り早期に整備を行うよう要望していく。また、明和町においても、史跡齋宮跡の全体計画となる保存活用計画について新たに策定していきたいと考えている。

### Q 消火栓ボックスについて

A 定期的な点検の実施を啓発していく

**質 問** 消火栓ボックスのホースはかなりの年数を経過したものが多数あり生命、財産を守るためにも放水テストが重要。自治会への取り組みについて伺う。

**答 え** 放水点検については、消火栓ボックス収納品の取扱訓練のほか、ホースの破損を発見することに繋げることができるため、定期的に点検を実施していただくよう自主防災組織等へ啓発をしていく。また、消防団に対して、自主防災組織等が放水点検等を実施する際には、ホースなどの器具の取扱いの教示や点検に協力するよう引き続き要請していく。



結果は1年後(2023)の11月1日号の

その後どうなった?

こうなった

で行政の考え方が示されます。